

若林障害者福祉センター

「上級救命講習会」を開催しました

令和3年7月28日
仙台市若林障害者福祉センター

去る令和3年7月12日（月）、当センター1階日常生活訓練室・1階社会適応訓練室・3階研修室大・研修室小・ボランティア室にて「上級救命講習会」を開催しました。（参加者：26名）

毎年、上級救命講習会を実施することで、知識や技術の振り返り積み重ねとなり、初回参加の職員は知識と技術を学ぶことができ、AEDを設置している施設職員としての役割を共通認識する事が出来ました。又、コロナ対策で距離を開けることを受講者間で伝え合う場面もあり職員で協力して行うことが出来ました。

今回、救命講習会の開催にあたり、コロナ対策として、検温・アルコール消毒・換気3密の回避のために4グループに分け少人数で実技を実施、実技試験もグループごとに行う等の感染予防に配慮しながら実施しました。

コロナウイルス禍ではありましたが、感染予防対策を実施しながら、他の1法人に加え、今回、初めて地域の事業所「セレモール霞目」より職員2名も参加して実施しました。上級救命講習会を地域の事業所で行う事で、緊急時等に地域で迅速に連携して対応できるのではないかと感じました。また、日頃から地域の事業所や地域の方々と交流し、連携していく事は地域の安全を図ることに繋がるのではないかと思います。

次年以降も、講習の受講を継続することで、緊急時等への対応や日頃の備えを行っていきたいと思います。

